

## 園庭改造 A to Z

発行日 2020年2月27日

執筆 富山福祉短期大学幼児教育学科2年藤井ゼミ(自然保育)

島崎千智

山崎陽菜

藤井徳子(専任講師)

協力 石動青葉保育園

小杉西部保育園

大学コンソーシアム富山

富山興業

富山森のこども園

野原謙(富山興業) (50音順、敬称略)

発行 富山福祉短期大学幼児教育学科 藤井研究室

fujii@urayama.ac.jp

0766-55-5567



大学コンソーシアム富山  
2019年度学生による地域フィールドワーク研究助成事業

AtoZ

## MESSAGE

### 子どもたちの豊かな経験を保障する保育環境 ～子どもの主体性を育む園庭づくり～

『園庭改造 AtoZ』は 2019 年に富山福祉短期大学幼児教育学科 2 年生藤井ゼミが小杉西部保育園（射水市）で取り組んだ園庭改造プロジェクトの成果として制作したものです。近年子どもたちの自然体験の不足や「体験格差」が顕著となり、「園児が一番身近に自然と触れ合える場」として園庭への関心が高まっています。

本プロジェクトは石動青葉保育園（小矢部市）の園庭見学から始まりました。どちらかといえばこぢんまりとしたその園庭には、いくつもの築山が重なりあったでこぼこ道や丸太の一本橋、小川や池、水が湧き出る泉もありました。たくさんの広葉樹が暑い日差しや雨をさえぎってくれます。高いサルスベリの木のてっぺんまで木登りすることもできます。ここでは子どもたちはどんなお天気の日でも、好きな場所で、好きな遊びを満喫することができるのです。

「こんな園庭で保育したい！」「こんな園庭が増えてほしい！」

「遊び込む経験、痛い経験、ドキドキする経験、、色々な経験ができるように」

「少ない予算でも知恵と工夫で多様な遊び場につくりかえたい」

たくさんの気づきをいただき、園庭への想いをふくらませることができました。こうして、小杉西部保育園の先生方と一緒に、園庭エキスパート野原謙さん（富山興業）にご指導いただきながら、園庭改造をスタートさせました。

藤井徳子

## MEMBER 「園庭改造 AtoZ」ゼミ生自己紹介



島崎 千智

自然が大好きな島崎千智です。園庭改造プロジェクトは大変なこともたくさんあったけれど、私たちが手作りした遊具で楽しそうに遊ぶ子どもの姿を見たときは、本当に嬉しかったです。また本プロジェクトの実施には園の職員の方々や園庭改造エキスパート野原さんなど、たくさんの方に協力して頂き、貴重なお話もたくさんお聴きすることができました。おかげで本プロジェクトを通して、幼児期における自然保育の大切さを再認識することができました。4月からは保育士になります。ゼミで学んだことを活かして、園庭や地域の自然の中で、自然保育を実践していきたいです！



山崎 陽菜

DIY が得意な山崎陽菜です。今回の園庭改造プロジェクトを通して、自然の中にはいろいろな遊びがあること、多様性の大きい園庭ほど子どもたちは多様な経験ができることなど、たくさんのこと学びました。石動青葉保育園の園庭で子どもたちが自由に生き生きと遊ぶ姿に感動し、私自身が「こんな園庭で遊びたい！」とワクワクしました。「自由に遊ぶ」「主体的に遊ぶ」というのはこういうことなのだとわかりました。小杉西部保育園の園庭改造に現場の先生方と一緒に取り組んだことも、ほかではできない貴重な経験でした。就職する園でも子どもたちと一緒に自然保育を楽しんでいきます！



藤井ノリチャエル先生

ゼミ活動第 1 回目は、小枝をのこぎりで薄くスライスし、木製名札を作りましたね。それからは空き缶ウッドストーブ、小枝パチンコ、バードコール、木製ベンチ、繩ばしご！もうなんだって作れますね、DIY 女子バンザイ！4 月から勤務する園でも、自然保育を子どもたちと満喫し、その楽しさや素晴らしさを保護者や職員の方々に伝えてくださいね。応援しています！

**園庭改造プロジェクト in 小杉西部保育園**

“こんな園庭をつくりたい”  
子どもたちの経験がもっと豊かになるように 保育がもっと楽しくなるように  
保育園・地域（企業）・大学の協働プロジェクトの始まりです！

\スタート!/ ① → \プランニング/ ② → \プロジェクト1/ ③ → \プロジェクト2/ ④ → ⑤ 完成！ /

**① 石動青葉保育園の園庭見学**

園庭というよりも里山！雑木林のなかを小川が流れています。遊びのルールもただ一つ「池を荒らさない」。子どもたちはいつでも好きな場所で、好きな遊びを、好きなだけ楽しんでいます。

**② 小杉西部保育園園庭改造プラン**

石動青葉保育園で学んだ園庭づくりのアイディアを小杉西部保育園園庭にプラスして、子どもたちにも保育者にも「ワクワク」があふれる園庭に改造します！石動青葉保育園の園庭改造も手掛けた野原謙さん（富山興業）が協力してくださいましたことになったのも、またとない幸運でした。

**③ 築山づくり**

「園庭づくりは一年でならず」新しい園庭プランには、小川、池、どろんこ沼、ピザ窯、ハーブガーデン…ワクワクがいっぱいです。これから何年もかけて少しずつくりかえっていきます。  
今年は築山をいくつも繋いで、地面をでこぼこにします。みんなで掘削作業をしてから、土を搬入しました。測量や杭打ちも体験させていただきました。

**④ 手作り遊具**

どんぐりの木に木登りしたくて、小枝とロープで縄ばしごを作りました。  
ちびっ子ハウスには、手作りの木製ベンチに、キッチンや、お掃除セットも置きました。シンプルで美しく、質感にもこだわって選びました。

**CONTENTS** 園庭改造の魅力を A to Z のキーワードでリストアップしました

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| <b>A</b> 遊びこむ          | <b>N</b> 繩ばしご             |
| <b>B</b> ベンチ           | <b>O</b> Outdoor (野外体験)   |
| <b>C</b> チャレンジ         | <b>P</b> プロセス             |
| <b>D</b> どろんこ          | <b>Q</b> Quality          |
| <b>E</b> Experience 経験 | <b>R</b> リスク              |
| <b>F</b> Fun! 楽しみ      | <b>S</b> センスオブワンダー        |
| <b>G</b> 五感            | <b>T</b> ちびっこハウス          |
| <b>H</b> ハンモック         | <b>U</b> 植える (種まき、樹木、畠)   |
| <b>I</b> 痛い経験          | <b>V</b> Variety 多様性      |
| <b>J</b> 自由            | <b>W</b> ワクワク             |
| <b>K</b> 子ども主体         | <b>X</b> クロス(協働) 学生 X 保育園 |
| <b>L</b> Leaf 葉っぱ      | <b>Y</b> 遊具               |
| <b>M</b> 森のようちえん       | <b>Z</b> ずっと              |

# A

## 遊びこむ

子どもが夢中になって遊びこむためには、「何をしてもいい」「許される」「見守ってくれている」という解放感や安心感、遊びを継続できる時間や空間が求められます。幼児期に遊びこむ経験をたくさんした子ほど、学びに向かう力が強くなるのだそうです。



# B

## ベンチ

初めてベンチ作りをしました。木材を買い、探寸をし、釘を打つ作業をしました。最初はうまく釘が入らなくて苦戦しましたが、やっていくうちに上手になりました。このベンチを園庭のどこにでも持ちだして遊びが始まつていくといいな。



# C

## チャレンジ

小杉西部保育園の園庭の築山が4つに増えて、ぐんと大きくなりました。子どもたちは滑っても、転んでも、楽しそうにはりきって山の頂上を目指します！



# D

## どろんこ

園庭に大量の土が搬入され大きな築山ができました。まだ踏み固められていない築山に、待ちきれない子どもたちは足を踏み入れて、みんなどろんこどろまみれ！来年はこの築山に川と池を作って、ますますどろんこ遊びが楽しくなる予定です。



# E

## Experience 経験

園庭改造のキーワードは「経験」。漠然と園庭改造のアイディアを出していた私たちに、「この園庭で、子どもたちにどんな経験をしてほしいのか？」という視点が大事だと、野原さん（富山興業）がアドバイスしてくれました。



# F

## Fun! 楽しみ

「川や池がほしい」「ツリーハウスで遊んでみたい」「ピザ窯で子どもたちとピザを焼きたい」「窯の横にはハーブガーデン」どんどん夢が膨らみます。こんな園庭なら子どもたちも先生も楽しいこといっぱい！



# G

## 五感

新しい園庭で、五感で自然をたっぷり感じて、いっぱい遊んでほしい。



# H

## ハンモック

園庭にある2本の木にハンモックをぶら下げる、「のつてみたい！」と子どもたちが次々に集まってきた。ハンモックの中に4人もギュウギュウ詰めになって楽しんだり、そのうち自分たちでルールを決めて順番に交代しながら遊び姿も見られました。



# I

## 痛い経験

ケガしないように、転ばないように、大人が管理して安全安心100%の遊びから子どもたちが学ぶことってなんだろう？ほんの少し痛い経験を保障してあげられる園庭のほうが、子どもたちの学びはずっと大きい。



# J

## 自由

石動青葉保育園の園庭で遊ぶ子どもたちはとても自由でした。どこで遊ぶか、何を使って、どうやって遊ぶか、いつどこで給食を食べるのかさえも！自分で決めます。



# K

## 子ども主体

よほど危険がない限り大人は手出し口出しを控え、子どもが自主的に遊びのを待ち、遊びを発見していく姿を追うことで、子どもたちは思い思いで遊び、自分自身で遊びを発見し創造していくのです。



# L

## Leaf 葉っぱ

石動青葉保育園の園庭はまるで里山のよう。たくさんの木々の葉っぱが夏の日差しや雨を防いでくれていました。小杉西部保育園の新しい築山にも、これからたくさん木を植えましょう！いろんな葉っぱで遊びましょう！



# M

## 森のようちえん

北欧やドイツには、毎日森のなかで過ごす「森のようちえん」がたくさんあるのだそうです。四角いお部屋を飛び出して、大好きな友だちや保育者と自然のなかで自由に遊ぶ。なんて楽しい毎日でしょう！



# N

## 縄ばしご

ツリークライミングインストラクターの兼崎さん（富山森のこども園）に習って、小枝とロープで縄ばしごを作りました！どんな木に吊りました。これからいろいろな木登り楽しんでくださいね。



# O

## Outdoor (野外体験)

現代社会は、物が豊かでスマートな生活とひきかえに、子どもたちから自然体験や生活体験を奪い、生きる力を低下させてしまいました。保育園の新しい役割は、子どもの成長に欠かせない自然体験、生活体験を豊かな遊びとして保障することです。



# P

プロセス

「どんな園庭を作るか」というゴール目標も大切ですが、そこにむけて、保育者一人ひとりが大事にしている保育観を共有したり、手間ひまかけて遊具を手作りしたり、そういうった園庭環境をデザインするプロセスそのものが保育の質を高めてくれるようです。



# Q

Quality

「質が質を育む」偽物やまがい物ではでは子どもは育たない。本物でないと子どもは育たない。プラスチックやテレビではなく、人や自然など本物の環境の中で。大人の都合ではなく、子どもにとつて本当によいものを。



# R

リスク

自然のなかで遊ぶと、楽しいこともリスクもたくさんあります。リスクも子どもたちが自分の限界を知り、自分で身を守るために必要な学びです。保育者はリスクについてしっかりと知識や経験を持つことで、自信を持って自然保育に取り組むことができます。



# S

センスオブワンダー

「神秘さや不思議さに目を見はる感性を新鮮に保ち続けるためには、私たちが住んでいる世界の喜び、感激、神秘などを子どもと一緒に再発見し、感動を分かち合ってくれる人が、少なくとも一人、そばにいる必要があります。知ることは感じることの半分も重要ではありません。」(レイチャエルカーネンの言葉より)



# T

ちびっこハウス

クリスマスの日。これまで空っぽだった園庭のちびっこハウスに、手作りベンチや木製キッチン、ワゴン車をプレゼントしました。ちびっこハウスの周りにはハンモックやプランコも吊りました。遊びがどんどん広がっていきます。



# U

植える  
(種まき、樹木、畑)

新しくできた築山に、子どもたちの好きなお花の種をまきましょう！チョウやクワガタが来る木も植えましょう！築山のそばには野菜やハーブの畠も作りましょう！



# V

## Variety 多様性

園庭に関する調査研究によると、子どもたちの豊かな経験を保障するためには、園庭環境に多様性が必要であることがわかつてきました。遊びを限定しない自然素材（水・土・木・石・生きもの）は、子どもたちの創造力や遊びの多様性を高めてくれます。



# W

## ワクワク

子どもたちが遊び姿を想いながらベンチを作っているとき。縄ばしゴを一段、また一段とロープで小枝をしばっていくとき。園庭に大きな築山が出現したとき。私もこんなにワクワクしているのだから、子どもたちはもっとワクワクしているんだろうな。



# X

## クロス(協働) 学生X保育園

学生と園の先生方が一緒に「こんな遊びができる園庭がいい」とアイディアを持ち寄り、プランを練り上げ、園庭の改造エリアで一緒に土まみれになって作業を行いました。



# Y

## 遊具

どんぐりの木に縄ばしゴをかけました。ちょうどいい枝ぶりをみつけたので木のブランコも吊るしてみました。となりの木との間にハンモックもかけてみました。どんどん遊びが広がっていきます！



# Z

## ずっと

幼少期の自然体験が、その後の人生に大きく影響するとされています。自然の中で、保育園の園庭で、不思議なものにドキドキしたり、友だちと遊んでワクワクしたり、そんな経験がこれから先の人生をずっと支えてくれるのです。



小杉西部保育園 園長  
竹内恭子先生より

講師を招いての園内研修で、遊びを体験し楽しさを実感したことから職員の一体感がより深まり、園児との遊びが広がりました。また、“魅力ある園庭づくり”に向けて構成を考え、学生さんの協力を得て、なお一層遊び場が形となったことで、遊びへの期待感が高まりました。今後も楽しい保育園を目指していきたいです。

